

過去の概要を報告申上げたのでありますが、将来の事業方針については後刻機会を見て申述べること
に致したいと存じます。

日本人人口白書の発表

財団法人人口問題研究会は改組後の最初の事業として、講和会議全権出發の直前、昭和二六年八月二十九日「日本人人口白書」を発表した。全権団員にその携行を依頼したもので英文タイプ三七頁、日本人人口の現状を世界に訴えることを目的としたものであるが、同時に國民に対する啓蒙をも目的としており、同日邦文文書として各新聞社を通じて発表された。

農村人口問題研究会の設立

農林省農業改良局及びその他の各部局、經濟安定本部、総理府統計局、厚生省人口問題研究所、日本農業研究所、毎日新聞人口問題調査会その他官民関係機関の有志は昭和二五年三月以来毎月会合してその研究成果の発表を行つてきたが、昭和二六年四月二十五日新たに東畑精一博士を会長として会を組織し、わが国農村人口問題に関する研究者の協力組織として発足するに至つた。毎月の部内研究発表会と機関誌「農村人口問題研究」の刊行などを中心としている。

日本人人口白書

講和会議全権の出發直前に発表された『日本人人口白書』は日本人人口の現状を國の内外に知らせ、わが国人口問題の重大性を訴えたもので、厚生省・人口問題研究所において起草され、財団法人・人口問題研究会によつて公表されたものである。一般の要望に応じこゝに最近の人口統計に関する附録を添えて活版印刷として実費頒布し、同慶の士の便に供されることとなつた。

実費頒布定価 一部四〇円（送料 六円）
申込送金先

東京都港区芝田村町一、合同ビル
厚生省人口問題研究所内

財団法人 人口問題研究会
振替東京九二七三五

内容目次

はしがき

一、人口はどのような動きをしているか？

1、戦前戦後における人口増加の概勢

2、戦後における増加人口の分析

3、戦後人口動態の推移

4、将来人口の推計

二、人口はどのようにに扶養せられ、そしてどのようにに再生産されているか？

1、戦後における生活水準の低下

2、産業構造の進化と出生率の低減

3、産業構造の欠陥と過剰人口の再生産

4、将来人口の扶養と安定

三、人口はどのような適応運動をしているか？

1、産兒制限の普及状況

2、合法的墮胎の増加

3、自然死産の増加と非合法的墮胎

むすび

附録——最近の主要人口統計一三表